

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YG27)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年12月7日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (13.0)	11/15	0	14.6	33.56	0	0	0	0	0	
		10	14.6	33.57	0	0	0	0	0	
		20	14.6	33.58	0	0	0	0	0	
		30	14.9	33.66	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (8.5)	12/5	0	5.5	32.5	0	0	0	0	0	
		3	5.5	32.5	0	0	0	10	10	Dr10
		6	5.5	32.5	0	0	0	10	0	
		9	5.6	32.5	0	0	0	20	10	Di10
		12	5.6	32.5	0	0	0	20	0	
		15	5.6	32.5	0	0	0	20	10	Di10
標津 (10.0)	12/6	0	8.38	32.62	0	0	0	20	20	Di20
		5	8.39	32.62	0	0	10	20	10	Di10
		10	8.39	32.62	0	0	10	30	60	Dro10,Di50
		15	8.38	32.62	0	0	0	40	40	Di40
厚岸	12/6	0	8.1	33.26	0	0	0	0	10	Di10
		5	7.99	33.29	0	0	0	10	20	Di20
		10	7.67	33.29	0	0	0	0	10	Di10
		13	6.75	33.12	0	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ, Dt = *Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、サロマ湖ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、

標津ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、

厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年12月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (4.0)	11/16	0	8.79	23.63	0	0	0	0	0	Dr10
		10	13.1	33.21	0	0	0	0	10	
		20	14.1	33.9	0	0	0	0	0	
		30	14.2	33.98	0	0	0	0	0	
増毛 (7.0)	11/15	0	12.2	32.55	0	0	0	0	0	
		10	12.3	32.6	0	0	0	0	0	
		20	14.5	33.7	0	0	0	0	0	
		30	14.1	33.6	0	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. *tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ, Dt = *Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、浜益ではデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 草, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年11月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	11/9	0	14.2	33.22	0	0	0	0	0	
		10	14.2	33.25	0	0	0	0	0	
		15	14.2	33.25	0	0	0	0	0	
		20	14.2	33.25	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (9.3)	11/13	0	11.2	33.3	0	0	0	10	10	Di10
		3	11.3	33.3	0	0	0	0	10	Di10
		6	11.3	33.3	0	0	0	10	0	
		9	11.3	33.3	0	0	0	0	0	
		12	11.3	33.3	0	0	0	10	0	
能取湖 (6.0)	11/10	0	12.1	33.14	0	0	0	130	80	Di80
		10	12.1	33.19	0	0	0	60	20	Di20
厚岸 (2.0)	11/9	0	13	33.16	0	0	20	70	80	Dro30,Di50
		5	13	33.16	0	0	0	50	100	Di100
		10	13	33.19	0	0	0	10	40	Di40
		13	13.1	33.33	0	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ, Dt = *Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、サロマ湖・能取湖ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年11月10日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (18.0)	10/26	0	17.7	33.63	0	0	0	0	0	
		10	17.7	33.67	0	0	0	0	0	
		20	17.5	33.7	0	0	0	0	0	
		30	17.2	33.73	0	0	0	0	0	
増毛 (5.0)	10/20	0	17.6	33.3	0	0	0	0	0	
		10	17.8	33.48	0	0	0	0	0	
		20	17.8	33.57	0	0	0	0	0	
		30	17.6	33.75	0	0	0	0	0	
常呂 (10.0)	11/7	0	14.1	25.7	0	0	0	30	0	
		10	14	33.7	0	0	0	10	0	
		20	14	33.7	0	0	0	0	0	
		30	13.8	33.7	0	0	0	0	0	
能取湖 (8.6)	10/24	0	13.8	33.1	0	0	0	200	130	Di100,Dc30
		10	13.8	33.1	0	0	0	160	210	Dro30,Di160,Dc20
標津 (10.0)	11/9	0	14	33.45	0	0	0	0	0	
		5	14	33.46	0	0	0	10	0	
		10	14	33.46	0	0	0	10	0	
		15	14	33.46	0	0	0	20	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = Alexandrium insuetum アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = Alexandrium pseudogonyaulax アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、常呂・標津ではデイノフィシス・アキュミナータ、

能取湖ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・コウダータが  
出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 草, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年10月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (5.0)	10/10	0	18.5	29.2	0	0	0	40	0	
		10	20.4	33.1	0	0	0	0	0	
		20	20.3	33.3	0	0	0	0	0	
		30	16.2	34.13	0	0	0	0	10	Dm10
標津 (13.0)	10/24	0	15.5	33.6	0	0	0	0	10	Di10
		5	15.5	33.6	0	0	0	0	0	
		10	15.5	33.6	0	0	0	0	0	
		15	15.5	33.6	0	0	0	0	10	Dt10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = Alexandrium insuetum アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = Alexandrium pseudogonyaulax アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dt = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、浜益ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ミトラ、  
標津ではデイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・トリポスが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YG22)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年10月13日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
江差 (18.0)	9/25	0	24.8	33.5	0	0	0	0	0		
		10	24.1	33.49	0	0	0	0	0		
		20	23.5	33.54	0	0	0	0	0		
		30	22.3	33.7	0	0	0	0	0		
猿払 -	10/4	0	20.1	33.49	0	0	0	0	0		
		10	19.8	33.46	0	0	0	10	0		
		15	19.1	33.46	0	0	0	0	10	Dro10	
		20	19.1	33.47	0	0	0	0	0		
常呂 (3.0)	10/10	0	17.1	26.9	0	0	0	0	10	Di10	
		10	16.4	33.5	0	0	0	0	10	Di10	
		20	16.4	33.6	0	0	0	0	0		
		30	16.3	33.5	0	0	0	0	20	Di10,Dro10	
サロマ湖 (4.0)	10/10	0	15.4	30.9	0	0	0	0	0		
		3	16.7	33.2	0	0	0	20	50	Dn10,Dro10,Di30	
		6	16.8	33.3	0	0	0	0	20	Di10,Dt10	
		9	17	33.4	0	0	0	0	20	Dro10,Di10	
		12	16.9	33.4	0	0	0	0	0		
		15	16.8	33.4	0	0	0	0	0		
厚岸 (2.5)	10/4	0	17.5	30.8	0	10	0	50	70	Ap10,Di70	
		5	18.4	33.1	0	340	0	20	40	Ai340,Di40	
		10	17	33.4	0	140	0	0	20	Ai140,Di20	
		13	16.9	33.4	0	30	0	0	0	Ai30	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)  
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ  
 Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)  
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ  
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

**コメント**

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、猿払ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、  
 常呂ではデイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータ、  
 サロマ湖ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、  
 デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラ、  
 厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YG21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年9月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (19.0)	8/21	0	25.3	33.55	0	0	0	0	0	
		10	24.8	33.67	0	0	0	0	0	
		20	24	33.84	0	0	0	0	0	
		30	19.5	33.95	0	0	0	0	0	
浜益 (14.0)	9/8	0	24.1	33.85	0	0	0	0	0	
		10	24.1	33.84	0	0	0	0	0	
		20	22.6	33.94	0	0	0	0	0	
		30	22.5	33.92	0	0	0	0	10	Dm10
増毛 (13.0)	9/15	0	23.6	33.6	0	0	0	0	0	
		10	23.9	33.78	0	0	0	0	0	
		20	23.1	33.82	0	0	0	0	0	
		30	18.1	34.02	0	0	0	0	0	
猿払 -	9/6	0	23.2	33.05	0	0	0	0	0	
		10	23	33.18	0	0	0	0	10	Dm10
		15	23	33.23	0	0	0	0	0	
		20	23	33.23	0	0	0	0	0	
常呂 (9.0)	9/8	0	21.6	26.2	0	0	0	0	20	Dru10,Dm10
		10	21.7	33.7	0	0	0	0	30	Dm30
		20	21.6	33.7	0	0	0	0	30	Dm30
		30	21.1	33.8	0	0	0	0	40	Dm40
サロマ湖 (5.5)	9/11	0	22.5	33.3	0	17640	0	10	50	Aa17640,Dm50
		3	22.4	33.3	0	17820	0	10	70	Dro10,Di20,Dm40
		6	22.4	33.3	0	16060	0	0	40	Aa16060,Di10,Dm30
		9	22.4	33.3	0	15320	0	0	60	Aa15320,Di30,Dm30
		12	21.7	33.3	0	6100	0	0	50	Aa6100,Di40,Dm10
		15	19.4	33.3	0	2850	0	0	0	Aa2850
能取湖 (8.8)	9/15	0	22.6	33.23	0	9880	0	0	50	Aa9880,Di30,Dm20
		10	22.6	33.28	0	3900	0	0	70	Aa3900,Di20,Dm50
標津 (10.5)	9/13	0	21.8	33.09	0	0	0	0	60	Dro10,Di50
		5	21.6	33.45	0	0	0	0	80	Dro10,Di70
		10	20	33.55	0	0	0	0	60	Dro10,Di50
		15	19	33.61	0	0	0	0	0	
厚岸 (2.0)	9/6	0	21.3	32.7	0	0	0	50	10	Di10
		5	20.9	32.9	0	90	0	0	30	Ai90,Dro20,Di10
		10	17.7	33.3	0	0	0	0	10	Di10
		13	16.7	33.3	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai=Alexandrium insuetumアレキサンドリウム・インシュエータム(無毒種),Ap=Alexandrium pseudogonyaulaxアレキサンドリウム・シュートゴニオラックス(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、浜益、猿払ではデイノフィシス・ミトラ、

常呂ではデイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・ミトラ、

サロマ湖ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラ、

能取湖ではデイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラ、

標津、厚岸ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 草, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (15.0)	8/22	0	24.9	33.31	0	0	0	0	0	
		10	23.6	33.74	0	0	0	0	0	
		20	23.2	33.8	0	0	0	0	0	
		30	21.3	33.86	0	0	0	0	0	
紋別 (9.0)	8/21	0	18.5	33.6	0	0	0	0	20	Dm20
		15	18.2	33.8	0	0	0	50	20	Dro10,Dm10
		25	18.2	33.8	0	0	0	10	20	Dro10,Dm10
		33	18.2	33.7	0	0	0	0	20	Dm20

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、紋別ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年8月25日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (6.0)	8/16	0	24.9	32.16	0	0	0	0	40	Dm40
		10	24.9	32.69	0	0	0	10	160	Dm160
		20	24.4	33.53	0	0	0	0	0	
		30	16.5	34.01	0	0	0	0	0	
常呂 (7.0)	8/17	0	17.8	24.72	0	0	0	0	0	
		10	17.1	33.83	0	0	0	0	40	Dro30,Dm10
		20	15.8	33.84	0	0	0	0	10	Dro10
		30	15.7	33.9	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (5.9)	8/17	0	21.6	33.02	0	1420	0	0	40	Aa1420,Dro10,Dm30
		3	21.6	33.01	0	510	0	0	10	Aa510,Di10
		6	21.4	33.05	0	230	0	0	30	Aa230,Di10,Dm20
		9	20.5	33.26	0	100	0	0	20	Aa100,Dro10,Dm10
		12	18.1	33.54	0	10	0	0	40	Aa10,Dro30,Dm10
		15	16.6	33.58	0	50	0	0	20	Aa50,Dro20
能取湖 (4.8)	8/18	0	22.4	33.17	0	0	0	0	50	Di10,Dm40
		10	18.9	33.55	0	400	0	0	50	Aa400,Di40,Dm10
網走 (7.0)	8/18	0	18.6	33.63	0	0	0	0	0	
		10	16.7	33.79	0	0	0	0	0	
		20	16.3	33.8	0	0	0	0	0	
		30	16.1	33.79	0	0	0	0	0	
標津 (5.0)	8/22	0	22.1	30.54	0	180	0	30	70	Ai180,Dro20,Di40,Dm10
		5	19.7	33.02	0	290	0	30	60	Ai290,Dro30,Di20,Dm10
		10	18.6	33.05	0	100	60	0	90	Ai100,Dro30,Di60
		15	17.1	33.34	0	80	0	50	30	Ai80,Dru20,Di10
厚岸 (2.0)	8/21	0	22.9	32.1	0	0	0	250	0	
		5	20.2	32.9	0	3340	40	320	100	Ai3340,Dro30,Dru10,Di10,Dm10,D argus10
		10	19.5	33.1	0	860	0	20	60	Ai860,Dro60
		13	18	33.2	0	170	0	0	0	Ai170

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサン德里ウム・オステンフェルディ

Ai=Alexandrium insuetumアレキサン德里ウム・インシュエータム(無毒種),Ap=Alexandrium pseudogonyaulaxアレキサン德里ウム・シュートゴニオラックス(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、浜益ではデイノフィシス・ミトラ、

常呂ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラ、

サロマ湖ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラ、

能取湖ではデイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラ、

標津ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ、  
デイノフィシス・ミトラ、

厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ルジエイ、

デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ミトラの他、デイノフィシス・アルガスが出現しました。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年8月10日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	8/3	0	22.7	33.08	0	0	0	0	70	Dm70
		10	22	33.13	0	0	0	0	40	Dro10,Dm30
		15	21.4	33.17	0	0	0	0	10	Dro10,Dm30
		20	21	33.22	0	0	0	0	70	Dro30,Dm40
枝幸 (11.0)	8/3	0	21.5	33.8	0	0	0	0	0	
		10	20.8	33.83	0	0	0	0	10	Dro10
		20	20.6	33.82	0	0	0	0	20	Dro10,Dru10
		30	20.5	33.82	0	0	0	0	30	Dru30
厚岸 (2.0)	8/1	0	19.9	32.1	0	220	0	1550	30	Ap220,Dro30
		5	12.7	32.8	540	50	430	250	690	Ap50,Dn660,Dro10
		10	12	33.0	340	0	80	220	180	Dn140,Dro10,Di30
		13	12	33.0	50	10	50	310	30	Ap10,Dn20,Di10

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサントリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサントリウム・インシュエータム (無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサントリウム・シュートゴニオラックス (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で50細胞/L以上出現しています。

下痢性原因種は、猿払ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラ、

枝幸ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ルジエイ、

厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・インファンディブラ、  
デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒フランクtonモニタリング速報(YC17)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年7月31日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (7.0)	7/18	0	21.8	32.91	0	0	0	0	50	Dm50
		10	21	33.65	0	0	0	0	60	Dro10,Dm50
		20	19.5	33.79	0	0	0	0	30	Dro10,Dm20
		30	17.4	33.83	0	0	0	0	0	
浜益 (13.0)	7/18	0	21.9	33.68	0	0	0	0	0	
		10	21.5	33.87	0	0	0	0	0	
		20	21.1	33.91	0	0	0	0	10	Dm10
		30	16.6	33.85	0	0	0	0	0	
増毛 (14.0)	7/20	0	21.9	33.9	0	0	0	0	0	
		10	21.3	33.91	0	0	0	0	10	Di10
		20	20.5	33.91	0	0	0	0	0	
		30	16.6	33.93	0	0	0	0	0	
猿払 -	7/18	0	16.6	33.54	0	0	0	0	10	Dr10
		10	16.3	33.46	0	0	0	0	0	
		15	15.5	33.47	0	0	0	0	20	Dro20
		20	14.4	33.48	0	0	0	0	0	
枝幸 (7.5)	7/20	0	17.5	33.77	0	0	0	0	0	
		10	16.2	33.84	0	0	0	0	10	Dro10
		20	16.2	33.85	0	0	10	0	0	
		30	16.1	33.85	0	0	0	0	0	
紋別 (5.0)	7/18	0	17	33.4	0	0	0	0	10	Dro10
		15	15.5	33.7	0	0	0	0	0	
		25	14.8	33.7	0	0	0	0	0	
		41	14.7	33.7	0	0	0	0	0	
能取湖 (5.5)	7/12	0	23.1	33.0	0	0	0	0	0	
		10	16.8	33.6	0	0	160	0	30	Dro20,Di10
能取湖 (6.2)	7/21	0	22.2	33.2	0	0	0	0	0	
		10	17.7	33.6	0	40	90	120	70	Ap40,Dn10,Dro60
標津 (10.0)	7/21	0	17.2	32.5	0	0	0	0	20	Dro20
		5	15.2	33.0	0	0	0	0	10	Di10
		10	13.8	33.3	0	0	50	0	50	Dn10,Di40
		15	13.4	33.4	0	0	60	0	0	
厚岸 (2.0)	7/19	0	17.6	30.8	30	0	20	4880	130	Dn50,Di80
		5	15.4	32.3	60	0	140	1840	1200	Dn1080,Di120
		10	12.7	32.5	20	0	60	2260	220	Dn130,Di90
		13	11.8	32.6	0	0	50	2780	200	Dn180,Dro10,Di10

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピ-シーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)  
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ  
 Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエタム(無毒種), Ap = *Alexandrium pseudogonyaulax* アレキサンドリウム・シュートゴニオラックス(無毒種)  
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ  
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸に出現しています。

下痢性原因種は、江差ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラ、浜益ではデイノフィシス・ミトラ、増毛ではデイノフィシス・インファンディブラ、猿払ではデイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・ロツンダータ、枝幸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータ、紋別ではデイノフィシス・ロツンダータ、能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、標津ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年7月21日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (15.0)	7/11	0	20.5	33.69	0	0	0	0	0	
		10	19.4	33.79	0	0	0	0	0	
		20	18.4	33.89	0	0	0	0	0	
		30	15.6	33.86	0	0	0	0	0	
猿払 -	7/11	0	16	33.55	0	0	0	0	0	
		10	15.3	33.51	0	0	0	0	0	
		15	15.3	33.51	0	0	0	0	10	Dro10
		20	15.2	33.52	0	0	10	0	10	Dro10
常呂 (15.0)	7/18	0	17.9	25.1	0	0	0	0	10	Dro10
		10	17.9	33.5	0	0	0	0	20	Dro20
		20	16.3	33.7	0	0	30	0	10	Dro10
		30	15.9	33.8	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (5.2)	7/18	0	18.4	32.7	0	0	70	60	0	
		3	18.6	33.1	0	0	40	20	40	Dro40
		6	18.7	33.2	0	80	20	0	0	Aa80
		9	17.6	33.5	0	10	150	20	10	Aa10,Dro10
		12	17.1	33.6	0	0	60	10	0	
		15	16.5	33.6	0	0	0	10	0	
網走 (7.0)	7/3	0	16.2	33.6	0	0	0	0	10	Dro10
		10	15.5	33.8	0	0	0	0	0	
		20	15.3	34.0	0	0	0	0	0	
		30	14.9	33.8	0	0	0	0	10	Di10

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum*アレキサンドリウム・インシュエータム(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、猿払・常呂ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータ、サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、網走ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年7月7日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 (13.0)	7/4	0	16	33.5	0	0	0	0	0	
		10	15.6	33.8	0	0	0	0	0	
		20	14.8	33.9	0	10	10	0	10	Ao10,Di10
		30	14.4	33.8	0	0	10	0	0	
サロマ湖 (8.5)	7/4	0	19.3	33.3	0	0	0	0	0	
		3	18.5	33.3	0	0	10	10	20	Dro10,Di10
		6	17.2	33.4	0	0	10	10	0	
		9	16.6	33.5	0	0	40	10	10	Di10
		12	16.1	33.5	0	0	50	40	10	Dn10
		15	14.3	33.6	0	0	0	0	0	
能取湖 (9.2)	6/28	0	19.9	33.4	0	0	0	0	10	Dro10
		10	15	33.6	0	0	190	100	0	
厚岸 (2.0)	7/5	0	15.1	31.9	100	0	30	250	270	Dn250,Di20
		5	14.2	32.1	440	0	20	230	600	Dn570,Di20,Dru10
		10	9.81	32.6	150	0	0	40	100	Dn100
		13	9.03	32.7	50	0	0	0	40	Dn30,Dru10

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンドリウム・インシュエータム (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは厚岸に出現しています。細胞数密度が50cells/Lを越えていますので、注意が必要です。

下痢性原因種は、常呂ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブラ、サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年6月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (12.0)	6/21	0	16.2	34.0	0	0	0	0	0	
		10	14.7	34.2	0	0	0	0	0	
		20	14.6	34.2	0	0	0	0	0	
		30	11.1	34.2	0	0	0	0	0	
増毛 (17.0)	6/22	0	17.4	33.5	0	0	0	0	0	
		10	15.1	33.8	0	0	0	0	0	
		20	14.1	33.9	0	0	0	0	0	
		30	13.1	33.9	0	0	0	0	0	
紋別 (3.0)	6/20	0	13.1	33.9	0	0	0	0	0	
		15	12.7	33.9	0	0	10	20	0	
		25	12.6	33.9	0	0	0	0	0	
		43	12.2	33.9	0	0	0	0	0	
常呂 (10.0)	6/20	0	12.7	33.8	0	0	10	0	0	
		10	12.8	33.8	0	0	40	0	0	
		20	12.8	33.8	10	0	0	10	0	
		30	12.8	33.8	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (9.0)	6/20	0	15.5	33.2	0	0	0	0	0	
		3	15.2	33.2	0	0	0	0	0	
		6	15	33.2	0	0	0	0	10	Dro10
		9	14.4	33.3	0	0	30	30	0	
		12	14.1	33.3	0	0	40	0	0	
		15	12.6	33.5	0	0	20	0	0	
標津 (8.0)	6/13	0	10.6	32.2	130	0	0	0	0	
		5	9.59	32.2	70	0	0	0	0	
		10	6.02	32.8	20	0	0	10	0	
		15	5.97	32.9	0	0	0	40	20	Dn10,Dro10
厚岸 (2.0)	6/22	0	14.2	31.9	10	0	0	40	0	
		5	11	32.0	170	0	0	90	270	Dn270
		10	8.25	32.6	100	0	0	10	160	Dn160
		13	8.25	32.6	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai = Alexandrium insuetum アレキサンドリウム・インシュエタム (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは常呂、標津、厚岸に出現しています。標津、厚岸では50cells/Lを越えていますので、注意が必要です。

下痢性原因種は、紋別、常呂ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、標津ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年6月26日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (4.0)	6/6	0	14.7	28.9	0	0	0	0	30	Dru10,Di20 Dru20,Di10
		10	14	33.1	0	0	0	0	30	
		20	12.4	33.9	0	0	10	0	0	
		30	11.9	33.9	0	0	20	0	0	
増毛 (11.0)	6/6	0	13.6	33.7	0	0	0	0	0	
		10	13.6	33.8	0	0	0	0	0	
		20	12.7	33.9	0	0	0	0	0	
		30	10.6	34.0	0	0	0	0	0	
猿払 -	6/6	0	11.6	33.3	0	0	10	0	0	
		10	10.8	33.3	0	0	20	0	0	
		15	10.4	33.4	0	0	40	0	0	
		20	10.4	33.4	0	0	10	0	10	
猿払 -	6/12	0	11.7	33.4	0	0	0	0	10	Dru10
		10	11.6	33.4	0	0	50	10	0	
		15	11.6	33.4	0	0	60	0	0	
		20	11.6	33.4	0	0	10	0	0	
能取湖 (5.2)	6/12	0	14.4	33.1	0	0	0	10	10	Dru10 Dn10
		10	12.8	33.2	0	0	0	0	10	
網走 (8.0)	6/12	0	12.2	33.6	10	0	70	10	10	Di10 Dru10,Di10
		10	10.4	33.8	0	0	0	0	0	
		20	10.1	33.8	0	0	10	0	20	
		30	9.84	33.8	0	0	20	0	0	
厚岸 (2.5)	6/8	0	12.7	30.4	80	0	0	50	40	Dn40 Dn360 Dn80 Dn10
		5	10.7	32.2	320	0	0	120	360	
		10	7.58	32.4	20	0	0	0	80	
		13	7.03	32.6	0	0	0	0	10	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンダリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンダリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンダリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサンダリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサンダリウム・インシュエタム (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは網走と厚岸に出現しています。厚岸では50cells/Lを越えていますので、注意が必要です。

下痢性原因種は、浜益ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ、猿払ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、能取湖ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ルジエイ、網走ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ、厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年6月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (9.5)	5/23	0	15	33.9	0	0	0	0	0	
		10	14.6	33.9	0	0	0	0	0	
		20	13.2	34.1	0	0	0	0	0	
		30	11.5	34.2	0	0	0	0	0	
常呂 (11.0)	6/5	0	11	33.5	0	10	30	10	10	Ao10,Dru10
		10	11	33.5	10	0	40	0	10	Di10
		20	11	33.5	10	0	0	0	30	Dru10,Di20
		30	11	33.5	0	10	10	10	20	Ao10,Dru10,Di10
サロマ湖 (5.5)	6/5	0	12.8	33.0	0	10	0	0	10	Aa10,Di10
		3	12.7	33.0	0	30	0	0	30	Aa30,Di30
		6	12.7	33.0	0	10	0	10	0	Aa10
		9	12.5	33.0	0	0	0	0	10	Di10
		12	12.2	33.1	0	0	10	0	10	Di10
		15	11.9	33.2	0	10	20	30	0	Aa10

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサントリウム・オステンフェルディ

Ai = *Alexandrium insuetum* アレキサントリウム・インシュエタム (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは常呂に出現しています。

下痢性原因種は、江差では出現していません。

常呂ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ、サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、  
が出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年6月5日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (10.0)	5/24	0	11.6	33.3	0	0	0	0	0	
		10	11.1	33.5	0	0	10	10	0	
		20	11.1	33.7	0	0	10	10	0	
		30	10.9	33.8	0	0	0	0	0	
常呂 (8.0)	5/29	0	11.1	32.9	0	0	10	20	20	Dn10,Di10
		10	10.3	33.8	0	0	70	60	0	
		20	9.94	33.7	0	0	60	0	30	Dn10,Dru20
		30	9.86	33.7	0	0	10	40	10	Dru10
能取湖 (6.3)	5/24	0	11.6	32.8	0	0	10	10	0	
		10	9.48	33.1	0	0	10	60	10	Dn10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Ai=Alexandrium insuetumアレキサンドリウム・インシュエータム(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、増毛ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、

常呂ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ルジエイ、  
デイノフィシス・インファンディブラ、

能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、

が出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年5月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	5/16	0	8.75	33.2	0	0	0	10	0	
		10	8.74	33.2	0	0	0	10	30	Dru30
		15	8.74	33.2	0	0	0	0	30	Dru30
		20	8.74	33.2	0	0	0	0	10	Dru10
枝幸 (6.0)	5/12	0	8.12	33.7	0	0	10	0	20	Dru20
		10	7.89	33.7	0	0	10	0	10	Dru10
		20	7.88	33.7	0	0	0	10	0	
		30	7.87	33.7	0	0	0	10	10	Dru10
紋別 (10.0)	5/17	0	10.2	33.3	0	0	0	0	0	
		15	8.07	33.9	0	0	0	30	0	
		25	7.72	33.9	0	0	0	10	10	Dru10
		38	7.51	33.9	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (9.5)	5/9	0	11.4	32.6	0	0	10	10	0	
		3	11.2	32.6	0	0	0	10	0	
		6	11.2	32.7	0	0	0	10	0	
		9	9.2	32.8	0	0	10	10	0	
		12	8.8	33.1	0	10	10	0	10	Aa10,Dn10
		15	8.2	33.1	0	20	0	10	20	Aa20,Dn20
網走 (12.0)	5/15	0	5.7	32.3	0	0	0	30	70	Dn20,Dru50
		10	5.14	32.4	0	0	0	10	10	Dn10
		20	4.96	33.1	0	0	0	10	30	Dn20,Dru10
		30	5.51	33.1	0	0	0	0	0	
標津 (8.0)	5/22	0	7.86	32.0	10	0	0	120	50	Dn10,Dru40
		5	7.69	32.0	20	0	20	130	80	Dn60,Dru20
		10	5.99	32.1	0	10	0	70	10	Ao10,Dru10
		15	3.9	32.4	0	10	0	30	30	Ao10,Dn30
厚岸 (2.5)	5/25	0	10.5	31.6	250	20	0	50	20	Ai20,Dn10,Dru10
		5	8.38	32.2	240	0	0	120	110	Dn100,Dru10
		10	7.14	32.3	210	120	10	60	70	Dn70
		13	6.78	32.5	270	20	0	80	80	Dn80

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサントリウム・アフィネ (無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサントリウム・オステンフェルディ

Ai = Alexandrium insuetum アレキサントリウム・インシュエタム (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは標津、厚岸で出現しています。

下痢性原因種は、猿払、紋別ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、  
枝幸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ  
サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、  
網走ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、デイノフィシス・ルジエイ、  
標津、厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、  
デイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年5月19日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (9.5)	4/20	0	10.5	33.6	0	0	20	40	0	Dru10
		10	10.5	33.9	0	0	50	0	10	
		20	10.6	34.0	0	0	60	0	0	
		30	10.3	34.1	0	0	10	0	0	
浜益 (6.0)	5/9	0	9.6	32.8	0	0	10	90	30	Dru20,Di10
		10	9.43	33.1	0	0	20	80	20	Dru20
		20	9.21	34.0	0	0	0	10	10	Dru10
		30	8.6	33.9	0	0	0	10	10	Dru10
増毛 (10.0)	5/10	0	9.49	33.1	0	0	0	0	0	
		10	9.41	33.5	0	0	0	0	0	
		20	8.72	33.9	0	0	0	0	0	
		30	8.3	33.9	0	0	0	0	0	
猿払 -	5/9	0	7.72	32.7	0	0	0	0	0	
		10	7.6	32.8	0	0	0	0	0	
		15	7.49	32.8	0	0	0	0	0	
		20	7.46	32.8	0	0	0	20	0	
厚岸 (2.5)	5/11	0	7.78	31.6	1040	0	0	0	0	
		5	5.97	32.3	20	0	0	20	70	Dn70
		10	5.63	32.4	0	0	0	20	10	Dn10
		13	5.42	32.4	10	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)  
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサントリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサントリウム・オステンフェルディ  
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ  
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

### コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で高密度出現しています。

下痢性原因種は、江差ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、  
 浜益ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ  
 猿払ではデイノフィシス・アキュミナータ、  
 厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年5月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (4.0)	4/26	0	8.54	31.9	0	0	0	0	0	Dru10
		10	8.29	32.9	0	0	0	10	0	
		20	8.24	33.6	0	0	20	10	10	
		30	8.07	33.8	0	0	0	0	0	
枝幸 (10.0)	4/24	0	5.35	33.3	0	0	0	70	0	Dn10
		10	4.47	33.2	0	0	0	30	10	
		20	4.8	33.3	0	0	0	50	0	
		30	4.91	33.4	0	0	0	80	0	
常呂 (9.0)	5/9	0	8.19	33.0	0	0	0	70	0	Dn10
		10	7.62	33.3	0	0	0	40	10	
		20	7.55	33.5	0	0	0	40	0	
		30	7.27	33.6	0	0	10	0	10	
サロマ湖	5/8	0	9.72	31.6	0	0	0	50	0	
		3	9.58	31.7	0	0	10	40	0	
		6	8.51	32.3	0	0	0	0	0	
		9	8.03	32.5	0	0	0	0	0	
		12	6.75	32.6	0	0	0	0	0	
		15	6.37	32.6	0	0	0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. *tamarense* アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種), Ao = *Alexandrium ostenferdii* アレキサントリウム・オステンフェルディ

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、増毛ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、  
枝幸ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルヴェジカ、  
常呂ではデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ルジエイ、  
サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年5月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	A属の他種 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (10.0)	4/20	0	7.78	33.4	0		0	0	0	
		10	7.7	33.4	0		0	10	0	
		20	7.67	33.4	0		0	0	0	
		30	7.11	33.9	0		0	0	0	
猿払 -	4/20	0	5.41	32.7	0		10	0	0	
		10	4.75	32.9	0		0	0	0	
		15	4.81	32.9	0		0	20	0	
		20	4.81	32.9	0		0	10	0	
能取湖 (3.0)	4/25	0	7.16	32.3	0	10	0	20	20	Ao10,Dru20
		10	6.83	32.3	0	10	0	30	0	Ao10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種), Ao = Alexandrium ostenferdii アレキサンドリウム・オステンフェルディ

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、増毛ではデイノフィシス・アキュミナータ、  
猿払ではデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータ、  
能取湖ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

**貝毒プランクトンモニタリング速報 (YC6)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2023年4月21日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種 細胞/L		
浜益 (1.5)	4/10	0	6.98	15.3	0	0	0	0		
		10	6.49	32.8	0	0	20	0		
		20	6.83	33.9	0	0	0	0		
		30	6.35	33.9	0	0	0	0		
猿払 -	4/10	0	5.38	32.9	0	0	40	0		
		10	5.39	36.0	0	0	60	0		
		15	5.39	33.0	0	0	80	0		
		20	5.39	33.0	0	0	20	0		
紋別 (1.0)	4/14	0	5.71	33.7	0	10	20	10	Dru10	
		15	5.71	33.7	0	0	30	0		
		25	5.71	33.7	0	10	30	0		
		34	5.71	33.6	0	0	60	0		
網走 (3.0)	4/14	0	5.33	33.0	0	0	80	0		
		10	5.11	33.1	0	0	150	10	Dru10	
		20	3.93	33.2	0	0	100	20	Dru20	
		30	3.58	33.3	0	0	40	0		
標津 (9.0)	4/19	0	3.14	31.6	0	0	10	0		
		5	5.98	31.8	0	0	10	0		
		10	2.75	31.9	0	0	10	10	Dn10	
		15	2.74	31.9	0	0	40	0		
厚岸 (2.5)	4/19	0	6.7	31.2	0	0	0	0		
		5	3.67	31.9	0	0	0	0		
		10	3.09	32.3	10	0	0	0		
		13	2.63	32.5	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)  
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)  
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ  
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ  
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

**コメント**

麻痺性原因種Atは厚岸でわずかに出現しています。

下痢性原因種は、浜益、猿払ではデイノフィシス・アキュミナータ、  
 紋別、網走ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ルジエイが出現しています。  
 標津ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルベジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2023年4月12日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種 細胞/L		
常呂 (5.0)	4/10	0	5.3	27.8	0	0	50	0		
		10	5.3	33.6	0	0	90	0		
		20	5.4	33.6	0	0	30	0		
		30	5.4	33.6	0	0	60	0		
サロマ湖 (7.5)	4/10	0	5.8	31.5	0	0	10	0		
		3	5.8	31.6	0	10	50	0		
		6	5.6	32.0	0	0	50	0		
		9	5.5	32.1	0	0	70	0		
		12	5	32.4	0	0	10	0		
		15	5	32.5	0	0	0	0		
能取湖 (6.1)	4/6	0	6.68	32.0	0	0	0	0		
		10	4.21	32.7	0	0	0	0		
厚岸 (5.0)	4/6	0	5.13	30.9	10	0	0	0		
		5	3.83	31.7	0	0	0	40	Dn40	
		10	1.57	32.4	0	0	0	0		
		13	1.52	32.4	0	0	0	0		

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)  
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)  
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ  
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ  
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

**コメント**

麻痺性原因種Atは厚岸でわずかに出現しています。

下痢性原因種は、常呂ではデイノフィシス・アキュミナータ、  
 サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、  
 厚岸ではデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)  
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
2023年3月13日  
中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
標津 (14.0)	3/1	0	-1	32.0	0	0	0	10	Dn10	
		5	-1.1	33.0	0	0	10	0		
		10	-1.1	32.0	0	0	0	0		
		15	-1.1	32.0	0	0	0	10		
厚岸 (2.0)	3/7	0	0.9	31.4	0	0	0	0	Dn10	
		5	-0.2	32.4	0	0	0	10		
		10	-0.4	32.3	0	0	10	0		
		13	-0.4	32.3	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサン德里ウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、標津・厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年2月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
標津 (12.0)	2/10	0	-0.1	32.1	0	0	0	0	Dn10	
		5	-0.1	32.1	0	0	20	0		
		10	-0.1	32.2	0	0	30	10		
		15	-0	32.2	0	0	10	0		
厚岸 (6.0)	2/13	0	-1.1	32.1	0	0	0	0		
		5	-1.1	32.3	0	0	10	0		
		10	-1	32.4	0	0	0	0		
		13	-0.9	32.4	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は、標津ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルヴェジカ、厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)  
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
2023年2月9日  
中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
標津 (6.0)	1/30	0	0.1	32.0	0	0	20	0		
		5	0.1	32.0	0	0	20	10	Dn10	
		10	0.1	32.0	0	0	10	0		
		15	0.1	32.0	0	0	0	10	Dn10	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではデイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2023年1月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種		備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (5.0)	1/17	0	1.9	32.8	0	0	0	0	
		5	1.9	32.8	0	0	10	0	
		10	1.9	32.9	0	0	10	0	
		13	1.9	32.9	0	0	20	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

## コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではデイノフィシス・アキュミナータが最大で20細胞/L出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 有馬大地)